

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会

IWAKI

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

9月号/2014年9月1日発行

■8月21日(木)
18:30~

8月納涼例会

会場 雨情の宿
新つた

講師 フランス大使館 原子力参事官 グゼリ・クリストフ氏
テーマ 「フランス、マルクール原子力研究所について」



今回の8月例会は、研修委員会が中心となり納涼も兼ねた例会を開催致しました。

講師に、研修委員会が10月4日から実施します視察研修も兼ね事前勉強会として、在日フランス大使館 原子力参事官のグゼリ・クリストフ氏をお招きした例会を開催致しました。

「フランス、マルクール原子力研究所 先進地研修視察」10月4日から10月10日まで本年度の研修視察は、東日本大震災原子力発電事故を受けた地元企業として、地域の将来像を考えるにあたって、この難局を打開するために東京電力福島第一原子力発電所の事故収束（30年～50年にかかるという収束期間）に向けた原子力発電所の解体、それに伴う国際原子力研究機関の誘致、全国各地の大学から原子力研究生の受入れの推進、廃炉に向けた産業集積の構築、さらには被災を受けた地域の除染処理、生活環境、自然環境対策等々の調査研究をはかるために、今回、南フランスにあるマルクール原子力研究所の

視察を目的と致しました。

このことを踏まえ、今回の視察研修の事前勉強会を兼ねた例会の開催となりました。

特に、納涼例会は浴衣着用の例会になりました。講師がフランスの方ということで、日本の伝統文化を表現し、お招きできればと気持ちから浴衣着用の例会となり、女性会員の多くの方に浴衣着用にて出席を頂きました。

【講演内容】

温室効果 エネルギー源別排出量

フランスも日本と同じようにエネルギー資源が乏しい。特にオイルショック以降は、

- ・原子力と水力エネルギーはCO₂排出の観点から最も効果的である。
- ・2035年には原子力と水力エネルギーはいかなるシナリオでも低炭素なエネルギーとして大きな役割を保持するであろう（「2012年世界エネルギーの見通し」より）

フランスの原子力設備容量-2014

原子力発電所19ヶ所 原子炉58基+1基(建設中)
出力 63GWe (406TWH/年)
原子力=発電電力量の75%
原子力+水力=発電電力量の90%

クローズド核燃料サイクル

政策 使用済みUOX燃料の再処理
回収ウラン (4基)
回収プルトニウム (22基)

利点 ウラン資源節約
プルトニウム保有量管理
将来、使用済みMOX燃料へのプルトニウム利用予定

廃止・廃炉中の施設

フランスにおいて廃止・廃炉中の施設は24基
原発関連技術の先進国

原子力関連機関

フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA)

基礎研究に補助金30%

CEA (政府から委任された先導的技術研究機関)

1945年10月、ドゴール将軍が設立

CEAはフランス政府に代わり科学的知識の向上、およびイノベーションと限られた分野への技術移転に貢献することを目指した研究計画作成

2010年、フランス原子力庁はフランス原子力・代替エネルギー庁に名称変更

CEAは、科学技術研究プログラムと研究教育により、重要な社会の挑戦に対応

- ・イノベーションによる産業支援
- ・低炭素エネルギーベストミックスへのエネルギーの過渡期
- ・健康関連
- ・国防とグローバルセキュリティ

CEAの根拠となる共有の価値

公衆の利益、責任の受諾、責務を負う、要求、複雑性の受入、連帯

納涼懇親会



CEAの施設 フランス国内9つの地域に立地



マルクール研究センター

マルクールとピエールラット両サイトの管理
CEA/原子力局の優れたセンター研究分野

- ・燃料サイクル
- ・放射性廃棄物管理
- ・解体、除染、廃止措

マルクールの歴史

- 1956年 最初の原子力産業用サイト設立
- 1965年 ピエールラット濃縮工場
- 1969年 ガラス固化法の開発
- 1973年 高速炉フェニックス運転開始
- 1991年 放射性廃棄物管理研究法 (バタイユ法)
- 2006年 放射性廃棄物等管理計画法 (バタイユ法のフォローアップ)

CEA マルクールの主要な数値

- 5,000名が働くサイトに1550名のCEA職員 (内700名が研究者)
- 予算 5億ユーロ (含1億ユーロの研究開発費)
- 30研究室 (含世界で唯一のホットセルを持つ大規模研究プラットホーム<アタラント>)
- 260特許 (20件/年)
- 教育拠点 (120研究者・教授
100博士課程の学生、およびポストドク等)
- 国際パートナーシップ・国際協力
- 300出版物 (含ピアレビュー新聞での50出版物)
- 《ガール県》で最大の産業雇用主
- 3億ユーロ 地元への年間経済波及効果

重要な計画の概要

- 燃料サイクル フロントエンドとバックエンドの研究開発
- 解体と歴史的な施設の廃止措置
- 産業財産権 技術移転のためのプラットホーム
- 原子力職業関連教育および訓練
- 地元の研究機関と連携した重要な科学センターとしてマルクールの立場を強化

マルクールサイトの主要な施設

研究関連施設、廃止、廃炉中の施設、生産施設、運動支援施設、
一般公開施設 見せる、説明する、遊ぶ、環境データと情報公開

8月グループ会報告

関税特区研究グループ会

- 日 時 8月29日(金曜日)19:00～
- 場 所 ワシントンホテル

納涼グループ会

グループ会メンバーの納涼情報交換会を実施した。

- ①寺主代表よりグループ会取組に対する期待と近況報告を頂きました。
- ②芳賀グループ長よりグループ会の今後の取組み計画についての報告。内容についてメンバーからの意見やアドバイスを聴衆しました。
- ③参加メンバーによる近況報告とグループテーマの小名浜についての3分間スピーチ。
- ④各メンバー間の情報交換。
- ⑤長谷川副代表幹事(特別参加)による中締め参加メンバー間の懇親と情報共有ができました。



まちづくり観光グループ会

- 日 時 8月26日(火曜日)18:30～
- 場 所 海鮮四季工房きむらや

6月溝畑氏講演会・7月公開シンポジウムの反省会をカジノ協議会サポート室と共催にて実施し、あわせて納涼会を実施しました。

また、檜葉町の木村重男様から、富岡町へ飲食業の事業新展開直後に東日本大震災で被災したが、いち早い事業の再開をスタートさせ、現在では、あらたな展開としていわき駅前に、お料理が評判の「海鮮四季工房きむらや」をたちあげられた経過と想いを語っていただきました。

9月以降のグループ活動の活動打合せと懇親を深めました。

スポーツ交流グループ会

- 日 時 8月25日(月曜日)18:00～
- 場 所 だいこん家

グループ会員相互の懇親を深め、和気あいあいと宴を楽しみました。

資質向上研究グループ会

- 日 時 8月23日(土曜日)18:00～
- 場 所 ワシントンホテル

8月グループ会は、ワシントンホテルにてにて暑気払いとしました。

まず、吉田グループ長より、本年度前期の活動報告がなされ、参加者の皆様より意見を頂き、その後後期の活動内容の意見交換を致しました。

*後期においては、一泊での移動例会を望む声がありました。

*国府田会員の乾杯により懇親会に入りました。後は、皆で懇親会となりました。



カジノ協議会サポート室

■日 時 8月26日(火曜日)18:00～
 ■場 所 きむらや

第2グループ会と共同開催で今後のグループ会、カジノ協議会サポート室の活動計画を話し合いながらの納涼会としました。

新入会員紹介



か じ だ い すけ
鍛 冶 大 輔

つばさ法律事務所
 業 種 / 弁護士業務
 会社所在地 〒970-8026
 いわき市平字南町21-2
 ネモト3-SUNビル4階

◆ 誕生日プレゼント

かがり火(つろサント)が贈られました
 山崎勇一郎さん(8月28日生)
 寺主君男代表幹事



FMいわき「いわき経済同友会だより」

〔9月予定放送〕

・9月1日	副代表幹事	長谷川祐一様
・9月8日	副代表幹事	武藤 眞一様
・9月15日	副代表幹事	松崎聡一郎様
・9月22日	副代表幹事	安島 浩様
・9月29日	代表幹事	寺主 君男様

◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

9月のグループ会

- 関税特区研究グループ 9月4週に検討中
 3. 講師:商工会議所副会頭 小名浜街づくり市民会議最高顧問
 小名浜製錬(株)顧問 正木好男 様
- まちづくり観光グループ 9月30日(火)
 いわきの今後の観光戦略、または、IRについての意見交換を市議会の根本議長をはじめ市議の皆様にお集まりいただき意見交換をしたいと思います。
- スポーツ交流グループ 9月24日(水) 9:22～
 ゴルフコンペ グランディ那須白河ゴルフクラブ(会員交流合同事業)
- 資質向上グループ 9月27日(土) 8:00～ 常陸大子方面
- カジノ協議会サポート室 まちづくり観光グループ共催
 大阪商業大学アミューズメント産業研究所所長の美原先生にもお越しいたゞき、観光とカジノを含む統合型リゾートについてお話を伺う予定です。

9月例会 日時 9月16日(火)

会場/建設会館5F大会議室

例 会 19:00
 講 話 19:30
 懇親会 20:40

テーマ「小名浜港の歴史について」 講師 当会 常任幹事 猪狩 正明氏

10月例会・第1回臨時総会

会場/建設会館5F大会議室 日時 10月14日(火)

例 会 19:00
 講 話 19:00
 臨時総会 20:45
 懇親会 21:00

講 師 東日本国際大学 経済情報学部長・教授 福迫 昌之氏
 テーマ 「(仮)磐越自動車道沿線公開シンポジウムについて」

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
 お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
 E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 編集 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
 情報委員会 委員長 小野英典
 副委員長/坂本和久・田村慎太郎・馬場 学
 山崎勇一郎